

富山県花と緑の祭典2019

第47回

花と緑の大会

と き 令和元年10月30日(水)

ところ 富山県民会館



つうがくる おはなににイっといっできます

朝日町立さみさと小学校1年 月岡ななみ
花と緑の標語コンクール 最優秀賞

高岡市立芳野中学校3年 石田恵里奈

花と緑のポスター原画コンクール 最優秀賞

公益財団法人 花と緑の銀行

富山県花と緑の祭典2019

第47回 花と緑の大会次第

- I 開 会
- II 知事（名誉会長）あいさつ
- III 花と緑の功労者表彰 1～5
 - 1 富山県環境部門県土美化分野緑花功労表彰
 - 2 公益財団法人花と緑の銀行理事長表彰
- IV 花と緑のコンクール表彰
 - 1 花と緑のポスター原画コンクール..... 6～8
 - 2 花と緑の標語コンクール..... 9
 - 3 富山県花のまちづくりコンクール
 - （1）学校花壇10～11
 - （2）幼稚園・保育所花壇12～13
 - （3）一般花壇14～16
 - （4）花の道16～17
 - （5）プレミアム花壇18～19
- V 来賓祝辞
 - 富山県議会議長
 - 富山県緑花推進県民会議会長
- VI 来賓紹介
- VII 記念写真
（休 憩）
- VIII 花と緑の講演会20～21
 - 演題 「花の育種・・・私流」
 - 講師 千葉大学名誉教授・ガーデンそよかぜ園主
安藤 敏夫 氏
- IX 閉会

※同時開催 令和元年度 富山県花と緑のコンクール入賞作品・写真展示

Ⅲ 花と緑の功労者表彰

1 富山県環境部門県土美化分野緑花功労表彰

やまもと よしこ
山本 好子（高岡市）

平成14年にグリーンキーパーに就任し、横田地区を中心に高岡市全体の緑化活動に取り組んでいる。地区の花壇づくりに積極的に参加するほか、花苗の育成・配布を行うなど、地区の緑化に貢献している。

す がわ のぶ お
須川 伸夫（南砺市）

平成11年にグリーンキーパーに就任し、城端地区の緑化活動に尽力している。地区の子どもらと花壇造成・管理を行うほか、後継者の育成にも努めており、地区の緑化と普及活動に貢献している。

かみい ちやうりつかみい ちやうがっこう
上市町立上市中学校（上市町）

人権教育の一環として緑化活動を取り入れており、環境美化委員会を中心に学校花壇の維持管理を行うほか、各教室に苗鉢を配布し、生徒が育てた花苗を花壇へ植えるなどの活動を行っている。

みずしま
水島フラワーレーン（小矢部市）

平成14年より水島公民館を中心に、その周辺花壇やプランターの維持管理に努めている。地域のイベントにも参加するほか、花と緑の銀行主催の研修にも積極的に参加し、地区の緑化・普及啓発に貢献している。

と やま し りつ お い だ ほ い く し ょ
富山市立老田保育所（富山市）

地域ボランティアと協力して花壇づくりや鉢植え体験などを行っており、活動を通して児童や地域住民の緑化意識の向上に貢献している。また、県や市が開催する花壇コンクールで毎年優秀な成績を収めている。

か み な か し ま は な み ら い き ょ う し つ
上中島花未来教室（魚津市）

平成5年より上中島公民館を中心に花壇の造成を行い、地域の花づくりの中心的な役割を担っている。また、地元の上中島小学校と連携し、児童に植栽指導を行うなど、地域の緑化普及に貢献している。

2 公益財団法人花と緑の銀行理事長表彰

(個人の部)

わしお きよこ
鷺尾 きよ子 (富山市)

平成11年から八木山花作り同好会の一員として、平成12年から大沢野地方銀行のグリーンキーパーとして、活動拠点である八木山会館花壇の管理を中心に、地域の緑化に貢献している。

また、定期的に行われている西大沢のサルビア園花壇の除草作業等にも毎回出席するなど、幅広く活躍している。

まつうら やすお
松浦 靖夫 (富山市)

平成12年から神明地方銀行のグリーンキーパーに、平成22年から頭取として、自治振興会とともに神明地区の緑化に尽力している。

また、配布された球根を各地区へ配布し、地区要望のとりまとめを行うなど、地域の緑化推進に貢献している。神明地区の長寿会にも所属し、花壇活動への助言を行っている。

やまかけ よしのぶ
山影 義信 (富山市)

平成3年から平成27年まで秋吉公民館長として、また平成15年から山室地方銀行のグリーンキーパーとして、秋吉公園花壇の維持管理を通して地域緑化に貢献している。

その間、平成19年から9年間頭取を務め、現在もグリーンキーパーとして活動を続けている。

こやま まさえ
小山 昌枝 (富山市)

平成8年から速星地方銀行のグリーンキーパーに、平成17年から頭取として、速星駅前、速星公民館、中央児童館を中心に地域緑化に貢献している。

また、中央児童館のプランターに児童と一緒に花苗の植え付けを行うなど、世代間の交流を図り、地域コミュニティの活性化にも尽力している。

ひらお なみお
平尾 奈美夫 (高岡市)

平成10年より中田花壇グループに所属し、平成13年に中田地方銀行のグリーンキーパーに、平成14年に中田地区花と緑の推進協議会幹事、平成25年から同副会長として活躍し、中田地区の花壇づくり、維持管理活動を通じて、地域緑化に貢献している。

また、平成17年から中田地区下代花壇の造成、維持管理責任者として積極的に活動している。

なかがわ しげお
中川 重男 (高岡市)

平成6年に泉が丘自治会花と緑の推進委員会（現：泉が丘公園愛護協力会）会長に就任し、平成17年から佐野地方銀行のグリーンキーパーに、平成23年から頭取として、泉が丘公園内花壇や千保川沿いの桜の維持管理に努めるなど、地域の緑化推進に貢献している。

つじむら のりひろ
辻村 徳弘 (高岡市)

昭和61年の成美校下花と緑の推進協議会設立時から推進員として活躍し、平成11年から成美地方銀行のグリーンキーパーに、平成24年から頭取として、成美地区の地域花壇の維持管理を実践し、地域緑化に貢献している。

また、花壇の造成や灌水施設の保守点検、修理に特に力を発揮しており、指導者としても緑化推進に尽力している。

うえだ とみこ
上田 富子（高岡市）

平成10年に二上地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、市立二上公民館周辺花壇、上二上自治会花壇などの維持管理に指導的立場で継続的に取り組むなど、地域の緑化に貢献している。

また、2000年国体を機に設立された二上地区環境美化推進委員会に当初から所属し、松葉菊花壇の維持管理活動を続けている。

みやた なつみ
宮田 夏美（高岡市）

平成14年から花と緑の推進員として活動し、平成17年に横田地方銀行のグリーンキーパーに就任して以降も、プラグ苗の育成、花の植え替え等を実践し、地域の緑化に貢献している。

また、土作り、水管理の知識が豊富であり、緑化活動の指導者として地域住民のアドバイザー的な役割を担っている。

いながき みゆき
稲垣 美雪（射水市）

平成13年に二口地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、緑化指導者として地域の緑化推進に貢献している。

二口地区の棚田フラワーロードを活動拠点として、地域を花と緑でいっぱいにする活動に尽力している。

あらき こ
荒木 かつ子（射水市）

平成14年に太閤山地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、活動拠点の歌の森運動公園西側広場花壇での花壇づくりを通して、地域の緑化に貢献している。

地域緑化推進の指導的役割を担っており、諸行事にも率先して参加し、他の会員の模範となっている。

あさい
浅井 ひとみ（射水市）

平成12年から自宅敷地で花づくりを始め、平成20年には全国花のまちづくりコンクールで大賞を受賞するなど、地域緑化の推進に貢献している。

また、平成19年から浅井地方銀行のグリーンキーパーに就任し、活動拠点の「浅井きらりガーデン」（旧浅井コミュニティ花壇）を立ち上げたほか、老人会への技術指導を行うなど、指導的役割を担っている。

あそう おさむ
浅生 修（魚津市）

平成17年から道下地方銀行のグリーンキーパーに、平成24年から頭取として、地域緑化の推進に貢献している。

また、あいの風とやま鉄道魚津駅前に設置したフラワーポットの維持管理や、青島三区公園花壇の維持管理を通じて地域住民の緑化意識啓発に努めている。

ほその ちさと
細野 千里（氷見市）

平成16年から十二町2区地方銀行のグリーンキーパーに、平成22年から頭取として、地域の緑化推進に貢献している。平成18年には「ひみ四季彩会」を立ち上げ、白鳥花壇を造成し、同会解散後は十二町老人会の方々に花壇づくり指導を行っている。

また、十二町潟公園の緑化活動により、環境美化にも努めている。

ひづめ かずこ
日詰 和子（氷見市）

平成15年から宇波地方銀行のグリーンキーパーに、平成19年から頭取として、宇波バス停前花壇をはじめ、久殿浜公園、休憩所、公民館などの緑化推進に貢献している。また、灘浦 I C 付近の緑化など利用者へのおもてなしにも尽力している。

一石山花壇を世話している花友会に入り、国道沿いの花壇整備も行い、環境美化にも貢献している。

ふなこ ただあき
舟子 忠明（黒部市）

平成20年から前沢地方銀行のグリーンキーパーに、平成24年から平成30年までは頭取兼カナロード実行委員会会長として、前沢カナロードをはじめとした地域花壇のリーダーとして地域緑化に貢献している。

また、平成30年から旧前沢小学校花壇を造成し、維持管理に努めている。

よしだ みつお
吉田 光男（砺波市）

平成14年に種田地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、活動拠点である五ケみち花壇や種田ふれあい花壇の維持管理を通して、地域の緑化推進に貢献している。

また、土作り、花木の植栽、花壇に設置する工作物の作成において、リーダーシップを発揮し、仲間からの信頼も厚い。

みやべ まさる
宮部 勝（砺波市）

平成10年から太田地方銀行の頭取を補佐し、平成18年から太田地方銀行のグリーンキーパーに、平成25年から27年まで頭取代理として、地域の緑化推進に貢献している。

また、太田リバーサイドパークでは、法面除草の管理責任者を務めるほか、樹木の剪定、雪囲い、地域の花壇づくりの指導を行っている。

ながひさ はるお
長久 春男（砺波市）

平成16年に東般若地方銀行の頭取に就任して以来、地区のグリーンキーパーをまとめてきた。東般若農村公園内にある「せせらぎガーデン植花夢（ウエルカム）」制作時には中心的な役割を果たすなど、地域緑化に貢献している。

また、同花壇内には地元保育園の花壇も設置しており、園児とともに花壇活動に取り組むなど、幅広い世代に緑化活動の輪を広げ、地域住民の関心を高めている。

おか ひでお
岡 日出夫（南砺市）

平成17年に井波地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、八乙女花壇の維持管理及び栽培指導を通じて地域の緑化に貢献している。

また、自宅で栽培した草花を井波社会福祉センター内に展示し、緑化推進と技術の普及に尽力している。

つちだ あいこ
土田 愛子（南砺市）

平成10年に石黒公民館花壇を、平成27年に石黒保育園跡地に花壇を作り、地域緑化に貢献している。

平成14年に石黒地方銀行のグリーンキーパーに就任してからは、地域花壇の維持管理のほか、保育園、小学校、地元企業へ花苗配布や植え方指導を行うなど、緑化推進に尽力している。

ながさわ
長澤 みどり（立山町）

平成13年に新川地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、地域花壇の維持管理や経験の浅いグリーンキーパーへの指導など、緑化推進に貢献している。

泉公民館周辺の花壇を活動拠点としており、また花の種を地域の高齢者サロンで配布するなど、地域への緑化普及や意識啓発にも尽力している。

たにぐち かずこ
谷口 和子（朝日町）

平成19年に南保地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、地域の花壇やプランターの植え込み、維持管理を通して緑化推進に貢献している。

町内全域に配布するプラグ苗の植え替え作業を通じて、緑化活動の普及啓発にも尽力している。

（団体の部）

とやまし りつにしでん ちがた ほいくしょ
富山市立西田地方保育所（富山市）

保育所が維持管理している「すずかけ通り」に面した花壇は、地域の方々や利用者の「花の咲く楽しみの通り」となっている。

また、地域のグリーンキーパー、富山大学農場の方々との花や野菜を通じた交流や、文化祭で花の種配布を行うなど、地域の活性化及び緑化に貢献している。

しんぼこうく ははおや
新保校区母親クラブ（富山市）

昭和61年に新保校区の母親により、児童の健全育成のために結成され、平成元年に花いっぱい運動として緑化活動を開始して以来、30年にわたり新保文化会館前花壇を中心に植栽を行い、地域の緑化に貢献している。

はやし くりよく かすいしんきょう ぎかい
林地区緑化推進協議会（砺波市）

林地区の緑化活動は平成元年に一人一緑化運動に取り組んだことに始まり、児童、PTA、老人クラブの三世代共同作業による花壇づくりが行われている。

砺波北部小学校前に林地区中央花壇を作り、児童と共同で維持管理を行って地域の緑化推進に貢献している。

わかみやしゅうらく かんきょう ほぜん かい
若宮集落の環境を保全する会（立山町）

平成19年の設立以来、若宮親水公園に整備された花壇やプランターの維持管理のほか、周辺道路脇をフラワーロードとして花苗を植栽し、地域の方々や訪れる方々の目を楽しませる花壇づくりに取り組んでいる。

活動は集落全体に呼びかけ、年齢、性別を問わず地域の連携を高めており、地域の緑化と、活力ある地域づくりに貢献している。

Ⅳ 花と緑のコンクール表彰

1 花と緑のポスター原画コンクール

最優秀賞



高岡市立芳野中学校 3 年
石田 恵里奈

優秀賞



富山市立古里小学校 5 年
前田 志咲子

優秀賞



富山市立和合中学校 3 年
柴田 廉士

優秀賞



富山市立西田地方小学校 6 年
伊林 佳南

優良賞



入善町立黒東小学校 3 年
藤田 ももこ



舟橋村立舟橋中学校 3 年
舘野 友梨



射水市立新湊小学校 3 年
本郷 亜美



朝日町立さみさと小学校 5 年
平坂 心麦



高岡市立下関小学校 6 年
河原 怜愛



片山学園中学校 1 年
島 実優



佳 作



舟橋村立舟橋小学校 1 年
安田 千紗



富山市立豊田小学校 1 年
日下 夢羽



富山市立鶴坂小学校 1 年
栗原 美陽



高岡市立牧野小学校 1 年
灘岡 凜子



舟橋村立舟橋小学校 2 年
稻田 光士良



富山市立奥田北小学校 2 年
崎田 岳瑠



氷見市立比美乃江小学校 2 年
谷井 知歩



富山市立大久保小学校 3 年
小泉 海翔



富山市立鶴坂小学校 3 年
沓掛 唯



射水市立大島小学校 3 年
末松 心那



射水市立大島小学校 3 年
中村 紗悠



高岡市立定塚小学校 3 年
四津 優菜



富山市立堀川南小学校 4 年
伊藤 柚音



富山市立芝園小学校 4 年
林 祐希



砺波市立砺波東部小学校 4 年
畑田 絢香



南砺市立福光中部小学校 4 年
吉江 なつ



砺波市立砺波東部小学校 5 年
穴田 心絆



富山市立新庄北小学校 6 年
小川 純佳



富山市立新庄北小学校 6 年
杉山 和果



砺波市立庄川小学校 6 年
川那邊 莉奈

佳 作



富山市立大沢野中学校 1 年
大上 紗季



南砺市立吉江中学校 1 年
木戸 ひかる



黒部市立桜井中学校 2 年
朝倉 花音



富山市立山室中学校 2 年
中川 景司



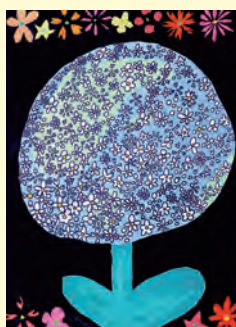
富山市立速星中学校 2 年
大田 明依



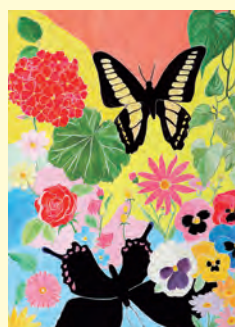
富山市立速星中学校 2 年
村井 青空



富山市立速星中学校 2 年
三國 莉央



高岡市立戸出中学校 2 年
廣川 碧泉



氷見市立西條中学校 2 年
宮下 薙々



黒部市立桜井中学校 3 年
浦田 彩衣



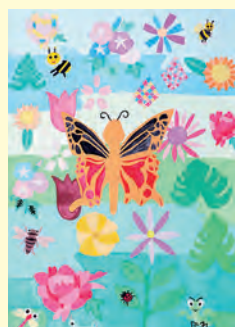
黒部市立桜井中学校 3 年
川崎 景子



富山市立岩瀬中学校 3 年
船木 彩衣



小矢部市立大谷中学校 3 年
島 千夏



富山県立富山高等支援学校 1 年
西野 航世



富山第一高等学校 1 年
奥田 芹奈

総 評

昨年より応募数が増え、花と緑に愛情を持つ子供たちが多いことをうれしく思う。

最優秀受賞作品の評

富山県を代表するチューリップが少女を上下から囲み、今までにない構図で新しさを感じた。少女の笑顔も良く、優しい気持ちになる。

色のバランスも派手すぎず、少女の優しさとマッチし、チョウの羽の黒い線もアクセントになっていて、デザインの的にも良く考えられている。

(審査委員長 米田雪子)

2 花と緑の標語コンクール

最優秀賞

つうがくろ おはなににこっと いってきます

朝日町立さみさと小学校 1年 月岡ななみ

優秀賞

赤ちゃんも えがおにできる お花たち
木のねっこ はすかしがりやで はたらきや
きっかけは あなたと私の 植えた花

朝日町立さみさと小学校 2年 稲葉 絆
朝日町立さみさと小学校 5年 小杉 聖奈
小矢部市立大谷中学校 3年 川原ひなの

優良賞

みらいにも あるといいな みどりのふるさと
今日も元気 水やりではじまる わたしの朝
花のかおり おかあさんみたいな いいにおい
色とりどりのお花達 庭の花壇でコンテスト
風がふき 花の香りが まいあがる
夏空の 花咲きほこる 通学路

朝日町立さみさと小学校 2年 篠崎 蕾
富山市立柳町小学校 2年 岡田姫美香
南砺市立福光東部小学校 3年 片山 桜子
朝日町立あさひ野小学校 4年 大倉 嵩生
小矢部市立大谷中学校 2年 大橋 香音
小矢部市立大谷中学校 3年 石田 徹

佳作

はるの花なえ なつにはへんしん ぼくのバースデーケーキ
いもうとと 花のかんさつ たのしいな
みんなでうえたひまわりが そろってさいて 夏本番!!
母の日は えがおの花を プレゼント
花いっぱい 朝のえがおを おでむかえ
花びらが 一枚二枚と ふえる日び
緑いっぱい 花いっぱい ずっと続け 私のふるさと
令和の時代も 花と笑顔をさかせよう
とどけよう私の思い 花は笑顔の宅急便
道端の きれいな花は 見守り隊

入善町立入善小学校 1年 堂本旺太郎
南砺市立福光東部小学校 2年 片岸 堇
朝日町立さみさと小学校 3年 河崎 陽向
立山町立高野小学校 4年 竹腰 香凜
富山市立船嶺小学校 5年 加藤 遙
氷見市立窪小学校 5年 水谷 柁斗
砺波市立砺波南部小学校 5年 小幡 璃路
南砺市立福光東部小学校 5年 上田 真緒
南砺市立福光東部小学校 6年 中山 琴子
小矢部市立大谷中学校 3年 高橋 由衣

総評

目にしたものを当たり前のことだと見過ごすことなく、美しさや不思議さ、驚き、自分の思いなどを素直に言葉にすることによって、大切なことをしっかりととらえた作品が数多く寄せられました。

それらは、花や緑、またそれらとかかわる人の営みの素晴らしさを人々に気付かせてくれます。

言葉の響きの美しさやリズム感が生まれるよう、繰り返し声に出してみるのもよいと思います。

最優秀賞受賞作品の評

やさしく、分かりやすい言葉ですが、花や緑と人との心の通い合いを感じることができます。

学校では、楽しいことがたくさんありますが、苦手なことに取り組んだり友達と仲良く過ごすために気を配ったりするなど、悩むこともあるかもしれません。でも「にこっといってきます」から頑張る気持ちや学校生活への期待が伝わってきます。それを花や緑、周りの大人も精一杯応援しています。

(審査委員長 山本 晶)

3 富山県花のまちづくりコンクール

(1) 学校花壇

最優秀賞



富山市 船峠小学校



優秀賞



高岡市 成美小学校



射水市 塚原小学校



黒部市 石田小学校

優良賞



黒部市 生地小学校



射水市 作道小学校



砺波市 庄東小学校



砺波市 庄南小学校



黒部市 村椿小学校



富山市 大沢野小学校

奨励賞



高岡市 二塚小学校



富山市 老田小学校



氷見市 湖南小学校

努力賞



入善町 飯野小学校



総 評

今年は梅雨時期の降雨が適度にあり全体に生育状況が良好でした。インパチェンスの一部にやや不良のものが、土と植物の様子を見ながら適度の灌水が求められるように思いました。それぞれの学校では子供たちが中心になって花を育て、植栽したときの小さな苗がここまで大きくなって育つ様子に驚き、笑顔一杯で語ってくれました。

デザインについては、彩りを際立たせ、見ることで笑顔があふれるように、子供をかかわらせながら、テーマが設けられていました。中には地域の風景を描いたり、今年の元号に因んだり、豊富なアイデアが盛り込まれていました。デザインは、子供を主体的にかかわらせ、育ち方の高低等を大人が指導していくのがよいという意見や、花壇を上から見たり横から見たりして立体的な効果を考えさせたいという意見がありました。

地域のグリーンキーパーと連携している学校の花壇は総じて見応えのあるものになっています。今年、花のまちづくり新拠点創出支援事業に取り組まれた学校では、地域の力を得て見違えるような花壇となりました。今後とも、学校ぐるみ・地域ぐるみでそれぞれの花壇づくりを展開してほしいと思いました。どの学校でも花壇作りに子供の学びを重ね、地域や保護者の力をいただいて熱心に取り組んでおられる様子がうかがえました。これからも、素晴らしく育った花々を囲み、得られた力や喜びを共有してほしいと思いました。

最優秀賞評

全校児童54名の子供達が縦割り編成のグループで育てた「ドリームガーデン」と、委員会が中心となって育てた「ウインドガーデン」が連なった富山市立船嶺小学校が受賞しました。土作りには地域ボランティアの助言を得て、教職員が全校体制で腐葉土や牛糞など肥料分を混ぜ込んだものを、子供たちが朝活動で整えたということで、どの花も生育状況が大変よかったです。

デザインでは、高低を考え、世話がしやすいようにブロックを置くなど、子供らしさが生かされました。赤いペコニアが低くて分かりにくくなったので、周囲のメランポジウムを切ったら、メランポジウムがもっと大きく育って困ったことが語られ、縦割り班で楽しく活動する様子がうかがえました。また、高学年の子供は地域の方から押し花作りを教えてもらい、花をいつまでも楽しみ、地域交流の機会をつくりました。

深緑の山々を背景に、花壇はどの教室からも見下ろせるものでした。船嶺小学校が長年取組む特色ある活動としての花壇活動は、子供達の協力性や自主性・責任感を育てています。円形花壇や鉢やプランターに思いが込められて、それを支えるきめ細かな教職員や地域の方々の支援がうかがえました。花壇を介して子供達と職員・地域の心が一つになったようです。

(審査委員長 五十嵐俊子)

(2) 幼稚園・保育所花壇

最優秀賞



富山市 西田地方保育所

優秀賞



入善町 入善幼稚園



氷見市 速川保育園



富山市 老田保育所

優良賞



富山市 宮川保育所



氷見市 南大町こども園



射水市 小杉西部保育園

奨励賞



富山市 五番町幼稚園



総 評

いずれの園においても子供の目線を意識し、園児が花壇の中に入って遊んだり学んだりできるように、花のトンネルやストーリー性が感じられる子供のための花壇にと、工夫が随所にこらされておりました。

園によって花壇を設置できる場所はさまざまですが、狭い場所でもプランターをうまく利用して、子供たちのためにはもちろん、園児を送迎する人々、公道に面した所を意識した花壇等、地域交流のある花壇づくりになっているのも明らかでした。

花を収穫（花摘み体験）して飾ること、押し花にすること、蔓をリースにすること、土台に花を挿しお花のケーキを作ること等新たな体験をし、花の色彩や香り、蜜の甘さ、土の感触、そこに飛来する野鳥や昆虫の生態を観察するなどして、園児たちの五感が刺激され、花壇を通じて豊かな情操が育まれていく大きな役割を果たしているように感じました。

また、花壇やプランターに野菜を育てている幼稚園・保育所が多くありました。大きな子が鳥よけネットを持ち上げ、小さな子がミニトマトを収穫し、他の子らに嬉しそうに見せる光景を目にしました。花が咲き、実がなり、収穫を喜び、感謝して食すことにより、子どもたちは退屈することなく「食」を学ぶことができるのだと感じました。

なお、今回の応募は県下全体の推薦枠の4割にも達せず、来年は各支店からの応募があることを期待しています。



最優秀賞評

駐車場から近代的施設の保育所に続く屋根付きのアプローチには、年長児が描いた花や虫をアクセントにしたプランターが飾られていました。また、花の道部門なのではと思われるほどの公道に面した花壇は、前年のこぼれ種、宿根草を利用した高低差があり存在感あるものでした。昨年より二回り、三回り大きく生育したシロタエギクには目を見張るものがありました。そして、今、富山県民の期待の星 NBA の八村塁選手と大相撲夏場所で優勝した朝乃山関の等身大人形は、園児や職員、地域住民が完成させたとのこと。種を分けて下さったり、アドバイスを下さったりする地域の人との関わりがこのようすばらしい花壇を作り上げ、多くの人が遠回りしてでも見に来て下さる花壇になったのだと感じました。



(審査委員長 館 睦美)

(花のまちづくりコンクール現地審査風景)



審査日：7月18日～8月9日

左上：射水市 塚原小学校 右上：氷見市 速川保育園
左下：高岡市 石代高砂会 右下：南砺市 太美山花の街道グループ

(3) 一般花壇

最優秀賞



砺波市 梅檀山花と緑の推進協議会



優秀賞



南砺市 玉成花壇愛好会



射水市 市井自治会モデル花壇



小矢部市 北蟹谷花と緑の友の会



氷見市 一勿花壇愛好会



南砺市 北部花緑愛好会



高岡市 醍醐地区振興協議会



射水市 黒河地域振興会

優良賞



砺波市 東野尻花と緑の推進協議会



南砺市 イオックスヴァルト花の会

優良賞



富山市 文京町公園愛護会



射水市 浅井きらりガーデン



富山市 大沢野花と緑の活動推進協議会



入善町 花と緑の銀行櫛山地方銀行

奨励賞



砺波市 般若緑花推進協議会



高岡市 石代高砂会

努力賞



砺波市 五鹿屋花と緑の推進協議会



富山市 上堀駅を愛する会



南砺市 広瀬館花と緑の楽園



上市町 花と緑の銀行上市支店



氷見市 余川ふれあい花壇



小矢部市 花と緑の銀行子撫地方銀行

総 評

冷夏予報に反して梅雨明け後は連日の真夏日となり、特に7月末からは猛暑日や熱帯夜、無降雨が続いて花壇管理には大変きびしい夏となりました。今年の一般花壇部門には各市町から22団体の推薦があり、今回初めての応募が5団体、久々の応募という団体もありました。8月7日～9日に現地審査が行われましたが、花壇の出来栄はさまざまで花の生育の様子もまちまちでした。花壇の立地条件や維持管理に従事する人数も団体によって異なりますが、それぞれ猛暑の中での水やりや摘花、除草に苦勞されている状況がうかがえました。花が枯死して裸地化している場所も見られ、暑さ対策の工夫が必要と感じました。

上位入賞の団体はデザインがしっかりしており、それぞれに工夫をこらし、花の生育状況もとても生き活きしていました。花壇を立体的に見せる工夫、地域資源の効果的活用法や周囲の景観との調和、配色のメリハリなど、他地区の花壇を視察して来年の花壇作りに生かしていただきたいものです。

活動・取り組み状況については、活動する人材の高齢化や従事者の不足が、多くの団体で一層深刻になっているようです。そんな中で、花と緑の銀行のステップアップ研修に参加したリーダーが張り切って活動しておられる団体の花壇は見ごたえがあり心強く感じました。

最優秀賞評

「井栗の森夢花壇」は周囲を緑豊かな山林に囲まれた梅檀山運動広場の一角にあります。過疎化や少子高齢化の進む中山間地域で、各年代の構成員が参加する梅檀山花と緑の推進協議会が15年前に設置した花壇です。今年は「朝日が昇り令和輝く」をイメージしたデザインで、周囲の杉林を借景にどの花もととも活き活きたボリュームのある生育を見せていました。花色もコントラストやバランスが考慮され、まさに山中に出現した「夢花壇」になっていました。毎年テーマに応じて花壇の区画をブロックで作り変える熱の入れようで、ここ数年の受賞歴を見ても常に上位にありレベルの高さがうかがえます。

花壇の手前には育苗ハウスを活用してオーシャンブルーのトンネルが仕立てられ、内部を歩くと瓢箪やヘチマ、変わり種のカボチャなどが見られる工夫がされていました。また、地区内の花壇へ花苗を配分したり、道路沿いにコスモスやスイセンを植栽するなどして地域の活性化にも大きな役割を果たしています。

(審査委員長 山田信明)

(4) 花の道

最優秀賞



南砺市 梅ヶ島フラワー街路の会

優秀賞



砺波市 太田福寿会



小矢部市 野ぎくの会



高岡市 立野栄町花づくり会

優良賞



射水市 二口花ロード



高岡市 下伏間江地域環境保全委員会



南砺市 東太美心安らぐ花の道

優良賞



富山市 大沢野・上大久保地区
花いっぱいグループ



南砺市 太美山花の街道グループ



奨励賞



氷見市 一石山花壇



富山市 興南中学校生徒会美化実践部&
教育後援会「花と緑の実行委員会」



総 評

本年も猛暑の夏、審査当日は花の道のお世話に当たっておられる皆さん始め、関係の方々のご参加を頂き有難うございました。各位のご尽力によって、さすが県内を代表する花の道に相応しい作品となっております。種々の創意工夫も凝らされるなど印象的だった事例について少し紹介させていただきます。

太美山花の街道は城端、金沢へ向かう県道沿いにあり、坂道の狭い路肩ですが、長い距離をサルビア中心に丹念に育てられ、山手の農村景観にもマッチしてドライバーには心落ち着かせる効果が期待できそうな印象を受けました。

近年、夏の猛暑が常態化している中、水やり労力の軽減に工夫されているのが二口花ロードです。定植時から植物に節水癖をつけ、連日猛暑の8月前半でさえ2回／週の計画と聞いて驚きました。草種も乾燥に強い高性アゲラタム、ガザニア、シバザクラ、周囲にリュウノヒゲを選び、道路の暑さ避けに用いておられました。水供給の少ない一石山でもガザニア、ポチュラカなどが栽植され、元気な顔を見せてくれていました。

デザイン性では太田福寿会の令和に因んだ紅白の花の配置や、立野栄町の孟宗竹を斜に立てて節毎に階段状に花を飾るアイデア等が目を引き、下伏間江では越中万葉6首を所々に配置して地域色を出す工夫もなされていました。

また、鑑賞期間の継続性という観点から、野ぎくの会始め数か所で春先にチューリップやスイセンの花々が楽しめるよう、もう一手間加えて花壇の有効活用を図っておられました。

組織を引っ張る力については、リーダーシップ、チームワーク、グリーンキーパーの指導、自治会や老人会との協力体制など様々ですが、「花は人（によって）人は花（によって）」花の道の継続性やレベルアップには重要な要素であることを改めて痛感されました。

最優秀賞評

梅ヶ島フラワー街路の会は2000年国体の年からずっと続けられ、近年は毎年、支店から推薦が上がってくる常連さんです。従っていつも前年と比較してどうかがよく分かります。ここ数年は年毎にレベルアップが図られ、今年も昨年より更にいい出来栄えとなっていました。200mの長さの割に生育が均一で生き生き感があり、レイアウトにも神経が注がれ、コリウスやマリーゴールドとトレニアなどで立体感と配色の絶妙なコントラストを醸し出し、道路の緩やかな曲線と馴染む彩りに仕上がっていました。管理面では約50名の会員のもとリーダーシップがよく発揮され、営農組合の車庫に2人一組の日割りの水やり当番表が貼られていて、しっかりと実践されている様子がうかがえ、組織、地域がまとまりをもって継続されていることも評価されました。

（審査委員長 松下真一郎）

(5) プレミアム花壇

最優秀賞



砺波市 五ヶみちグループ

優秀賞



富山市 寺崎啓乃

優秀賞



射水市 小杉花作り同好会

優秀賞



南砺市 桐木花と緑の推進協議会

優秀賞



富山市 八尾園ふれあい花壇

優秀賞



砺波市 高波花と緑の推進協議会

優良賞



射水市 浅井ひとみ

優良賞



砺波市 宮野裕子

優良賞



砺波市 南般若花と緑の推進協議会

審査評

昨年度まで「花のまちづくり推進モデル花壇」だったものが、新たに「プレミアム花壇部門」となったの初めての審査であった。年々気象変動が大きくなり栽培管理が困難になるのに加え、今年は日照不足などの悪条件も加わり、生育不良や害虫の発生も増加傾向との報告もあり、審査日に合わせての開花調整など大変苦労された跡が如実に見られた。審査対象の9花壇は全て大変よくできており、正に今が見頃の状況になっていた。

全体としては、個人の花壇に比べて、団体管理の花壇はその規模の大きさを活かして、非常に見ごたえのあるものになっていた。一方で、個人花壇は宿根草やこぼれ種の活用など、とても努力をして非常に丁寧な維持管理がされていることが手にとるように感じられ、素晴らしい景観となっていた。

植栽する品目について、ただ多くの種類を使用すればいいということではなく、草丈や色彩がバラバラであっては、見せたいものがぼやけてしまいがちである。花壇から一步引いた視点で、花壇全体の形、色彩をトータルにデザインすることができれば、より水準の高い作品を作ることができるであろう。

また、宿根草の多用によるマンネリ化が進んでいる昨今、それを打破するためにも、今後は、例えばイネ科の大型品目（黒キビ等）の導入によりアクセントを加えるなどの手法の検討が望ましい。

最優秀賞評

まず審査員の方々の端的な講評を記載すると、「道らしい、オーソドックスでやさしい色合い」「道に合ったはっきりとした色」「立地条件をうまく活かしている」「地域全体で連携して活動に取り組んでいる」「典型的な花壇」などが挙げられた。

草花の生育、開花状況が良いのはもちろんのこと、県道沿いというロケーションを考慮した、同系色でまとめ統一感のある群落状の植栽や、草丈の高低差を活かした立体的な演出など、車の中からもひときわ目を引く設計になっており、まさに模範的な大規模花壇に仕上がっていた。

今後の課題としては、防草、乾燥防止を目的としての多量のもみ殻堆肥が敷き均してあるが、植え替え時の耕耘により、土壌に混和された際、土壌の過乾燥や窒素飢餓が起こる可能性も考慮に入れた肥培管理が望ましい。

（審査委員長 西尾 正）

〈令和元年度花と緑のコンクール審査員〉

○第45回花と緑の標語コンクール

山本 晶 立田ひろみ 大割範隆 井畠克昌 松井俊成 長谷川道隆

○第47回花と緑のポスター原画コンクール

米田雪子 山達雅美 平井利枝子 大割範隆 井畠克昌 松井俊成 長谷川道隆

○第46回富山県花のまちづくりコンクール

五十嵐俊子 川原俊昭 越谷なつみ 大井 巖 山下寿之 舘 睦美 水上悦子
矢野正人 筏井田鶴子 吉田めぐみ 松下真一郎 石崎弥佳 高田敏充 高橋一臣
山田信明 川崎弘美 古崎三夫 村家直樹 西尾 正 十二町薫 西尾倫顕
中田政司 松井俊成 長谷川道隆

（順不同）

VIII 花と緑の講演会

「花の育種・・・私流」

千葉大学名誉教授・ガーデンそよかぜ園主 安藤 敏夫

ここでは園芸の専門家以外の、多くの花好きの方々にお話させてください。

私が「その花をつくった人」と話すと、「その花を栽培した人」と理解される方が多いのかもしれませんが、私は「その花を創った人」と話しているので、意味が全く違います。

「創る」とは創造すること、ここでは新しい花を創ること、つまり育種することです。「育種」という言葉にも理解されにくい面があって、「育種」と「育苗」、それに「採種」の区別ができない方もおられます。さらに、「育成する」という言葉は、「栽培する」という意味で使われることがあります。種苗法では「育種する」と同じ意味で使います。ですから、私が「この花はAさんが創った」と言っても、「Aさんが育種した」と言っても、「Aさんが育成した」と言っても、全く理解されていないことがあります。困ったものです。

全ての花には作者がいる

市販の花には、それを栽培した人（栽培者）がいるのは当然ですが、その前に、それを育種した人（育成者という）のいることを忘れてはいけません。野山に自生する草木から優れた変異を見出した人もいます。こうして誕生した「園芸品種」は、全て人が係わって生まれた植物群なのです。

野菜などには「顔の見える商品」というのがありますが、そのどれもが栽培者の顔であって、育成者が顔を見せることはありません。各地に「〇〇メロン」などという地名を冠したブランドがありますが、これもその地方で栽培されたという意味で、ほとんどの場合、その地方で育成されたものではありません。

特許法の植物版である種苗法が保護するのは、育成者の権利ですから、育成者は農水省の公式文書に公表されています。しかし、それが広く伝わることはありません。美しい花があれば、その育成者にも思いをはせるべき、と私は思います。

開発なき産業は減じる

「開発なき産業は減じる」という心に重い言葉があります。花の産業で、最も重要な開発行為は育種でしょうから、花の生産者に向かって、経営を安定化させるために、自ら育種することを勧めてきました。これが「生産者育種」です。四半世紀を経て、気付けば、先進的な生産者の多くが、生産者育種の成果を経営の柱にしていたのです。どうやら、うまくいったようです。花の生産者といっても、育種のプロではありませんから、高度技術は使っていません。生産者育種を普及した際のポイントをご紹介します。

① 花に恋するなかれ

市販の花に満足している方には、育種はできません。花を見て「かわいい♡♡♡」・・・恋した途端、育種の目は閉じられてしまいます。一方で、「かわいいけどねえ・・・」と、一歩引いて客観的に花を評価できる方には可能性があります。

「人の創ったものを買ってきて使う、という仕事に飽きた。私の花を創りたい。教えて下さい。」と研究室を訪ねてきた人がいました。3年かけて彼女はペチュニア‘さくらさくら’‘桃色吐息’を創りました。

② 妄想族

「こんな子を創りたい」と、夢を見る、妄想する、目標を定めるのは大いに結構です。しかし、想定外の変り者が生まれるのが常です。しかし、それは世界に一つの子ですから、隠れた能力を見抜いてあげてください。

③ 知識

育種するには「メンデルの法則」を知っておいた方が便利です。優性、劣性、ホモ、ヘテロなどの用語に自信のない方には、高校の生物の教科書をお勧めします。

④ 種子系と栄養系

市販の花には、種子から育てられる「種子系」と、挿芽や接木で育てられる「栄養系」があります。生産者に勧めたのは「栄養系」の育種です。「種子系」の育種は手間がかかり、ノウハウも必要なので、お勧めしません。「栄養系」の場合、望ましい個体が一株生じれば、育種は終わりです。組織培養による増殖が普通になったこともあり、これまで種子系であった花を栄養系にする傾向が世界的に進んでいます。

⑤ 変異の多い栄養系を

栄養系なら何でもいい、ということではありません。特に「海外で品種の発達した栄養系」が狙い目です。沢山品種があるのに、今更どうして・・・という疑問は当然ですが、品種が多いということは、変異が多いということで、変異を利用するのが育種ですから、変異がなければ新品種は誕生しません。

多くの実生の中から、あなたの感性に合う個体を選ぶのですから、心配はいりません。感性の違う日本人の選ぶ個体は、欧米人の選ぶ個体とは全く別になるはずです。

⑥ 統分類学の知識と交配

科・属・種・園芸品種という植物の分類単位を理解して下さい。交配して雑種を得ることを交雑といいます。

ある植物に、別の科の植物を交雑するのは、まず無理。同じ科の別属を交雑するのは、運が必要。同じ属の別種を交雑するのは、可能な場合もある。同じ種の別品種を交雑するのは可能・・・こんな基準でしょうか。

⑦ 生産者育種の段階

生産者育種の段階を独断で整理してみました。

第1段階： 実を見つけたので種をまいた。

第2段階： 同一種の品種を並べて咲かせ、実ができたので種を播いた。

第3段階： 園芸品種と同一属の別種を並べて咲かせ、別種に実が出来たので種を播いた。

第4段階： 手で交配して実ができたので種を播いた。

第1段階など、育種と言えるレベルではありませんが、それでも成果は出ているのです。一世を風靡したアジサイ「ミセスクミコ」やスパティフィラム「メリー」は第1段階で得られた品種です。

⑧ まかぬ種は生えぬ

京都のいろはかるたの「ま」は「まかぬ種は生えぬ」だそうです。花の育種の第一歩は種を播くこと。

種を播いて、最初の花が咲いたからと、ある生産者が私を招きました。そこにはすばらしい花が咲いていました。その時、私が「実生は裏切らないよ」と言ったそうです。彼はそれを名言と確信したそうです。

彼のように、最初の実生で成功を収める例が非常に多いのです。不思議なことです、ともかく栄養系の種を播く人が少なかった、ということなのでしょう。沢山播きましょう。下手な鉄砲も数打ちゃ当たります。

忠告

最後に忠告をしておきましょう。かつて、某テレビの番組で、究極の植物遊びとして育種の話をしたことがあります。一例としてペチュニアの交配の手順を紹介したのですが、放送後の問い合わせは、全てペチュニアに関してでした。

現在、私はキキョウの育種をやっていますので、その話が出ると思いますが、それを聴いて、もし、あなたがキキョウの育種を始めようと思うような人だったら、育種はお勧めしません。育種は創造活動ですから、そんな貧弱な発想では無理です。育種材料はどこにでもあります。あなたの庭にもあります。

以上

○ 令和元年度 富山県花と緑のコンクール入賞作品展

と き 令和元年12月13日(金)～12月27日(金)

ところ 富山県中央植物園サンライトホール

と き 令和2年2月22日(土)～3月1日(日)

ところ 富山市婦中町フューチャーシティーファボーレ

○ 令和元年度 花とみどり・ふれあいフェア(予定)

と き 令和2年2月29日(土)～3月1日(日)

ところ 富山市婦中町フューチャーシティーファボーレ



はなびー



H30年度 花とみどりふれあいフェア



公益財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-2425 FAX 076-465-5923

<https://www.bgtym.org/fgbank/>

第47回花と緑の大会大会誌

花と緑の銀行だより 213号

発行日 令和元年(2019)10月